

市会

定例会において個人質問に登壇しました



名古屋を吹奏楽部員のあこがれの地に

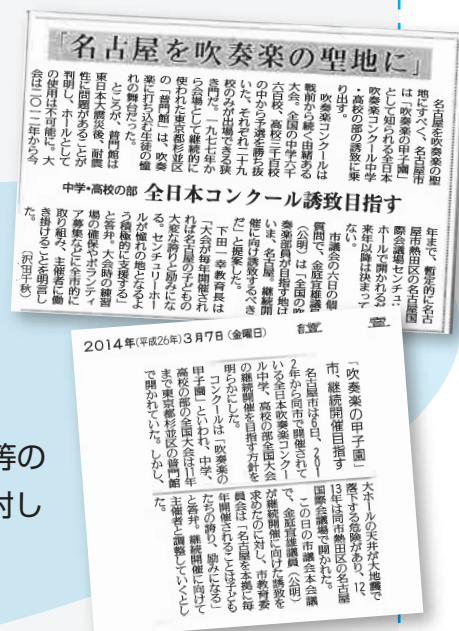
現在、全日本吹奏楽コンクール（中学・高校の部）が、名古屋国際会議場センチュリーホール（仮会場）で開催されています。

中学、高校の吹奏楽部が各地の大会を勝ち抜き、それぞれ 29 校が代表として集う全国大会であり、入場券も発売後数分で完売してしまうほど人気のある大会として全国的に有名です。

この大会を来年以降も継続的に名古屋で開催できるよう、本市も積極的に誘致すべきと質問しました。

これに対し名古屋市教育委員会からは、練習会場としての学校施設等の提供や、高校吹奏楽部員によるボランティア協力などの支援体制を検討していくなどを主催者側に提案していくと表明しました。

質問の内容が新聞にも掲載されました。



地域の方と語る会を開催

語る会では、地域課題の聞き取りや市政から国政に至るまで広範なご意見やご要望をいただいています。

私からは、中心市街地における自動二輪車の駐車対策について議会質問で活用したパネルでご報告しました。

栄など多くの人が集まる中心市街地の歩道上には、自転車やバイクなどが放置されているため、歩行者に危険な歩道になっています。

私は、自動二輪車の駐車場を積極的に整備している他都市の先進事例を示しながら、名古屋市の対策の遅れを指摘し、これについて民間駐車場への協力の呼びかけや、駐車場への誘導策などの積極的な取り組みにより安全対策を進めていくとの答弁を引き出したことをご報告致しました。



情報

空家対策推進条例が成立しました

去る 3 月 20 日に閉会した 2 月定例会において議員提案による「名古屋市空家等対策の推進に関する条例」（通称「空家対策推進条例」）が全会一致で可決しました。



条例可決に至るまで、足掛け 3 年に及ぶ調査・研究を重ねてまいりましたが、この間にも多くの市民の方からのご意見やご要望なども伺い、市民生活を守るという一点に重点を置き、国の法整備も視野に入れながら条例案作成を詰めてまいりました。

近藤和博議員（事務局・緑区）、たなべ雄一議員（座長・千種区）、さわだ晃一議員（団政審会長・西区）とともに、自民党、民主党の有志議員としっかりタッグを組みながら、私も所管委員会の委員長として制定に向け関わらせていただきました

トピックス

これまでの 100 年これからの 100 年



名古屋市で最初に造られた浄水場、鍋屋上野浄水場。

明治 43 年に建設が始まり、大正 3 年 3 月に完成した緩速ろ過池による給水がはじまってから、今年で 100 年が経過します。

この 100 年もの間、名古屋市の水道水は全国に誇る「安心で、安全なおいしい水」として、市民に親しまれてきました。

この緩速ろ過池が、建設から 100 年経過するのを契機に、更なる安心の水確保の視点から耐震化が施され、4 年にわたる全面改修の築造工事がこのほど完了。新たな 100 年をめざした入水式が挙行政され、

私も経済水道委員長として式に参加し、ろ過池への水入れのセレモニーとしてバルブを開放し、新たな 100 年の開始に立ち会わせて戴きました。

